

玉江校区コミュニティプラン

第1期（2019年度～2023年度）



（平成30年度校区文化祭）

玉江校区コミュニティ協議会

所在地 鹿児島市下伊敷1-35-1

電話 099-813-7125

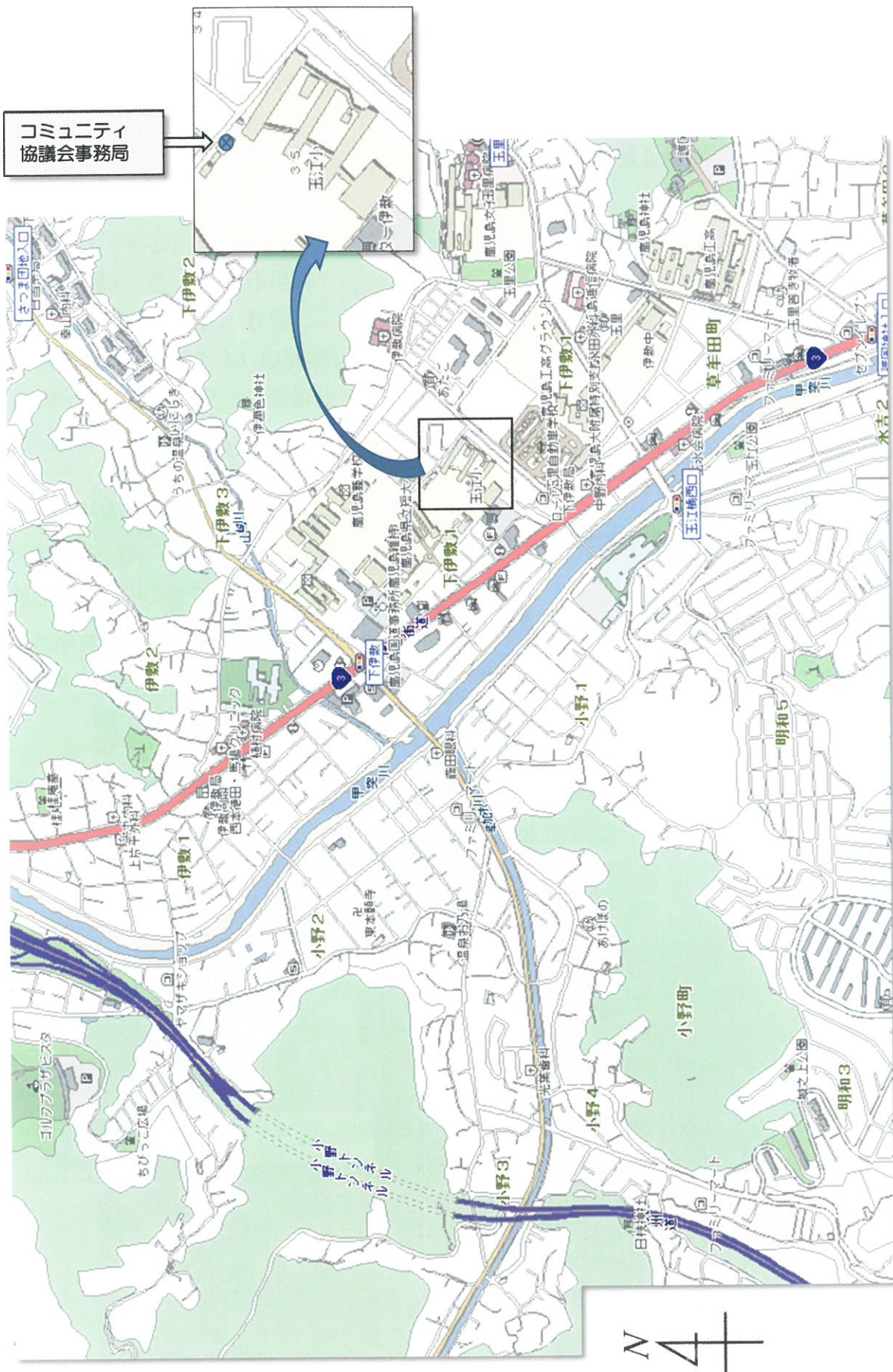
FAX 099-813-7126

E-meil qqdb2rw9k@vega.ocn.ne.jp

目 次

1	私たちの校区	1
2	コミュニティプランとは	2
3	校区の概要	3 ~ 8
4	5つの取組	9 ~ 12
5	まちづくりの目標	13
6	推進組織と主な活動（体系表）	14
7	玉江校区コミュニティプラン	15 ~ 16
8	資料	17
	（1）アンケート調査の概要	18 ~ 19
	（2）プラン策定までの経緯	20
	（3）プラン策定委員	21

1 私たちの校区



2 コミュニティプランとは

コミュニティプランとは、私たちが住んでいる玉江校区のさまざまな課題を解決し、暮らしやすいまちづくりに取り組んでいくための具体的な計画です。

計画期間は2019年度から2023年度までの5年間です。

玉江校区の良さ

- ・生活が便利
- ・児童生徒の校区行事への参加が多い
- ・文教施設が多い

玉江校区の課題

- ・交通量が多く、事故が心配
- ・地域の連帯感の希薄化
- ・ゴミのポイ捨て等が見られる

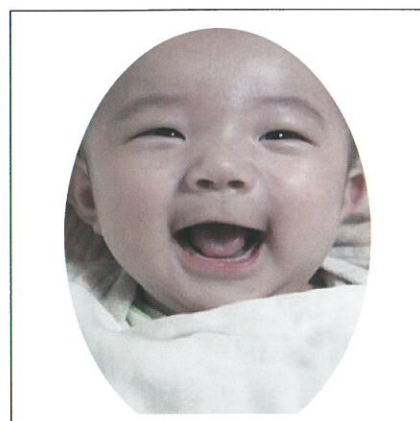
さらに住みよいまちへ

- ・環境美化に取り組むまち
- ・通学指導の徹底による事故の防止
- ・連帯感と活力と笑顔あふれるまち

笑顔がつなぐ玉江の絆



(国道3号線一下伊敷1丁目付近)



3 校区の概要（平成30年10月1日現在）

私たちの玉江校区は鹿児島市の北西部に位置しています。甲突川をはさんで東部が下伊敷、西部が小野になりますが、周囲を小高い山に囲まれた自然豊かな地域です。

校区コミュニティ協議会や町内会、PTAなどを中心に、青少年健全育成や世代間交流など、住民が一体となって住みよいまちづくりに取り組んでいます。

(1) 人口 13,557人

(2) 世帯数 6,536世帯

(3) 高齢化率 28.5%

※(1)から(3)の詳細は7ページ以下の「玉江校区の世帯数・人口の推移」、「玉江校区の高齢化率」の表・グラフ参照

(4) 教育施設



創立140周年を迎えた
玉江小学校



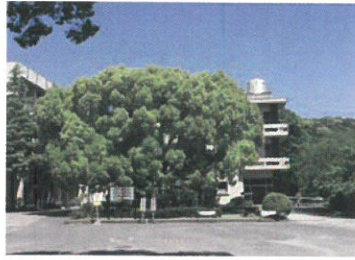
志寛錬の校訓
伊敷中学校



県立聾学校



鹿大附属特別支援学校



県立短期大学



鹿児島看護学校

(5) 主な自然環境・史跡等



玉江橋から見た甲突川



石橋公園の旧玉江橋



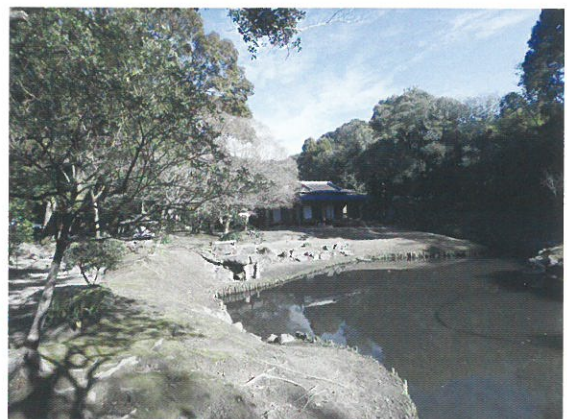
伊邇色神社 一下伊敷 2丁目



日枝神社 一小野 4丁目



六地藏尊 一小野 3丁目



玉里邸 玉里町



聖之宮跡—小野4丁目



歩兵第45連隊兵営正門跡—現県立短大

(6) 主な伝統行事等



校区文化祭—地元有志の生花



餅つき大会—臼と杵を使った餅つきに挑戦



世代間交流—グラウンドゴルフ大会



炎天下のあいご体育大会



新成人のつどい



青少年のつどい

(7) 主な施設

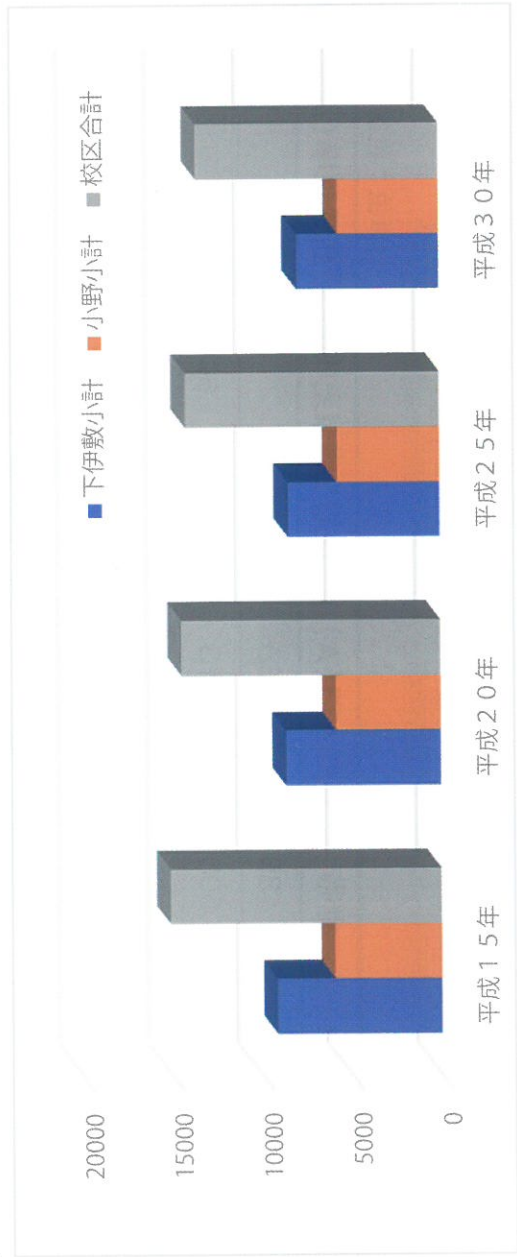
- (ア) ハートピアかごしま
- (イ) 高齢者福祉センター伊敷・西部親子つどいの広場いしきらら
- (ウ) 県民総合保健センター
- (エ) 玉里福祉館
- (オ) 小野市民館

玉江校区の世帯数・人口の推移

(単位：世帯、人)

町名	平成15年9月30日		平成20年9月30日		平成25年9月30日		平成30年10月1日	
	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口
下伊敷町	174	452	32	55	39	67	39	68
下伊敷1丁目	1,545	2,917	1,538	2,966	1,522	2,979	1,505	2,913
下伊敷2丁目	1,135	2,502	1,124	2,393	1,127	2,322	987	1,917
下伊敷3丁目	1,445	3,292	1,478	3,215	1,494	3,095	1,460	3,034
下伊敷小計	4,299世帯	9,163人	4,172世帯	8,629人	4,182世帯	8,463人	3,991世帯	7,932人
小野町	156	302	110	181	98	166	93	155
小野1丁目	450	1,029	458	1,050	466	1,029	464	1,017
小野2丁目	697	1,778	746	1,862	759	1,819	781	1,795
小野3丁目	639	1,540	668	1,500	639	1,428	633	1,334
小野4丁目	560	1,294	546	1,230	565	1,292	574	1,324
小野小計	2,502世帯	5,943人	2,528世帯	5,823人	2,527世帯	5,734人	2,545世帯	5,625人
合計	6,801世帯	15,106人	6,700世帯	14,452人	6,709世帯	14,197人	6,536世帯	13,557人

出典：鹿児島市住民基本台帳



玉江校区の高齢化率 (平成30年10月1日現在)

(単位：世帯、人、%)

住居表示	世帯	総人口(A)	うち65歳以上(B)	高齢化率(A)/(B)
下伊敷町	39	68	8	11.8
下伊敷1丁目	1,505	2,913	646	22.2
下伊敷2丁目	987	1,917	672	35.1
下伊敷3丁目	1,460	3,034	1,031	34
小計	3,991世帯	7,932人	2,357人	29.7%
小野町	93	155	88	56.8
小野1丁目	464	1,017	296	29.1
小野2丁目	781	1,795	381	21.2
小野3丁目	633	1,334	401	30.1
小野4丁目	574	1,324	340	25.7
小計	2,545世帯	5,625人	1,506人	26.8%
合計	6,536世帯	13,557人	3,863人	28.5%

出典：鹿児島市住民基本台帳

参考一鹿児島市全体の高齢化率

(単位：世帯、人、%)

住居表示	世帯	総人口(A)	うち65歳以上(B)	高齢化率(A)/(B)
鹿児島市全体	295,748	604,609	158,382	26.2



4 5つの取組

アンケート調査からいろいろな課題が見えてきました。そうした中で、私たちは校区コミュニティ協議会が有する人的パワー、財源等の現状に鑑み、向こう5年間で次の5つの課題に重点的に取り組み、改善しようと考えています。

(1) 子どもの健全育成

(ア) あいご会の活性化

「大人・青少年育成—Q1」日頃、校区の子どもたちとの程度関わりを持っていますか。

よく声をかけている-----	29%
行事等で顔を合わす程度-----	25%
ほとんど触れ合いなし-----	35%

(イ) 校区行事への参加呼びかけ

「小・中学生—Q5」玉江校区にはいろいろな行事がありますが、参加していますか。

	(小学生)	(中学生)
ほとんど参加している-----	23%	11%
ときどき参加している-----	54%	50%
全く参加していない-----	23%	39%

「大人—社会教育・社会体育Q1」校区の社会学級(成人、女性)などに参加したことがありますか。

現在参加している-----	4%
参加したことがある-----	20%
参加していない-----	77%

「大人—社会教育・社会体育Q2」校区のスポーツ活動や地域活動に参加していますか。

現在参加している-----	20%
参加したことがある-----	31%
参加していない-----	49%

(ウ) 夜間パトロールの実施

「小・中学生—Q1」学校への登下校や近所で遊んでいる時、こわいと思ったことがありますか。

	(小学生)	(中学生)
ある-----	15%	18%
ときどきある-----	27%	25%
ない-----	58%	57%

「小・中学生—Q2」こわいと思った、ときどき思った人は、どんな時
 思いましたか。（複数回答—小学生69人、中学生63人）

	(小学生)	(中学生)
明かりが少ない-----	19人	30人
車の交通量が多い-----	17人	11人
知らない人に声をかけられた-----	15人	9人

(2) あいさつの励行

(ア) あいさつ運動



(玉江小付近のあいさつ通り)

「小・中学生—Q3」ふだん、近所の人に自分から進んであいさつして
 いますか。

	(小学生)	(中学生)
進んでしている-----	48%	55%
ときどきする-----	46%	43%
全くしない-----	6%	2%

(イ) 大人の側からのあいさつ励行

「大人・青少年育成—Q2」青少年育成のため、協力したいと思うこと
 は何ですか。（複数回答346人）

あいさつ・声かけ-----	195人
見守り活動-----	73人
行事への参加-----	50人

(3) 生活環境の改善

(ア) 美化活動

「小・中学生—Q8」玉江校区を良くするために、あなたができること
 は何ですか。（複数回答、小学生171人、中学生125人）

	(小学生)	(中学生)
タバコの吸い殻やゴミを拾う-----	35人	14人

(イ) ゴミのポイ捨て防止

「小・中学生—Q10」いまの玉江校区でいやだと思うことは何ですか。
 （複数回答、小学生171人、中学生112人）

	(小学生)	(中学生)
ゴミがあちこち捨ててある-----	77人	35人

(4) 事故・防犯対策の強化

(ア) 交通ルールの指導徹底

「小・中学生—Q2」こわいと思った、ときどき思ったことがある人は、
 どんな時思いましたか。(複数回答、小学生69人、中学生63人)
 (小学生) (中学生)
 車の通行量が多い(再掲) -----17人 11人

(イ) 防犯灯の増設

「小・中学生—Q2」こわいと思った、ときどき思ったことがある人は、
 どんなとき思いましたか。(複数回答、小学生69人、中学生63人)
 (小学生) (中学生)
 明かりが少なくてこわい(再掲) -----19人 30人

「大人・玉江校区の環境・まちづくり—Q4」児童・生徒の登下校時
 又は児童生徒が遊んでいるとき、怖いと思ったことがありますか。
 (複数回答318人)
 思ったことがある-----104人
 ときどきある-----84人
 ない-----130人

「大人・玉江校区の環境まちづくり—Q5」怖いと思った、ときどき
 思ったことがある人は、どんなとき思いましたか。(複数回答211人)
 明かりが少なくてこわい-----39人

《防犯灯設置数の推移》

地 区	平成26年	27年	28年	29年	30年
下伊敷	434	441	443	449	449
小 野	395	410	377	384	386
合 計	829	851	820	833	835

※出典：鹿児島市安心安全課

《人身事故件数の推移》

地 区	平成25年	26年	27年	28年	29年	30年
下伊敷	56	45	50	68	42	33
小 野	18	19	19	17	15	8
合 計	74	64	69	85	57	41

※平成30年は11月末現在。出典：鹿児島西警察署

(5) 連帯感の強化

(ア) 隣人への声かけ運動

「大人・地域の福祉—Q1」近所の方との程度お付き合いをしていますか。
(複数回答332人)

たまに世間話や立ち話をしている-----177人
あいさつ程度-----81人
困っているとき相談できる-----38人

(イ) みんなが出来る範囲での地域貢献

「大人・地域の福祉—Q2」あなたは、ご近所による助け合いは必要だと思いますか。

多少必要-----61%
大いに必要-----35%
あまり必要ない・必要ない-----4%

「大人・青少年育成—Q2」青少年育成のため、協力したいと思うことは何ですか。
(複数回答346人)

あいさつ声掛け-----195人
見守り活動-----73人

(ウ) 子どもとお年寄りとの交流の場設定

「大人・校区の独自行事—Q1」下記の行事のうち、知っているものに○をつけてください。
(複数回答699人)

新成人のつどい-----187人
校区文化祭-----221人
グラウンドゴルフ大会-----120人
青少年のつどい-----32人
地域ふれあいデー（餅つき大会）-----139人

「大人・校区の独自行事—Q2」各行事に対するあなたの考え

(単位：%)

行事名	継続	要改善	しなくてよい	わからない
新成人のつどい	43	6	8	43
校区文化祭	52	6	4	38
グラウンド	34	6	10	57
青少年のつどい	24	2	7	67
地域ふれあいデー	43	6	5	46

(エ) 福祉に関する講習会

- ・子育てサロン
- ・認知症に関する講習会 など

5 まちづくりの目標

(1) まちづくりの目標（スローガン）

笑顔がつなく玉江の絆

(2) 目指す未来像

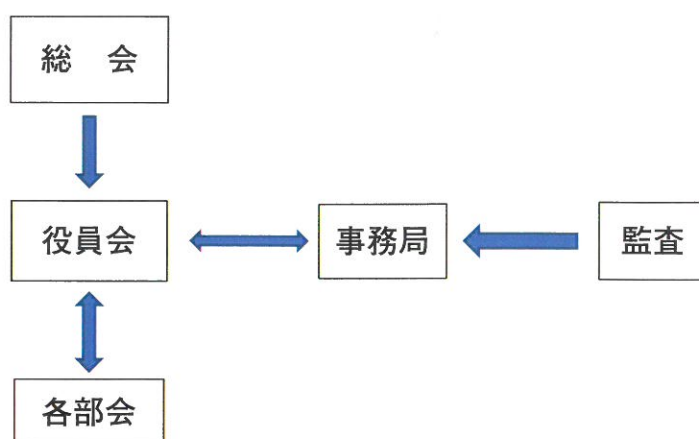
玉江小学校区における身近な課題の解決や地域資源を生かした活動など、地域主体のまちづくりに取り組み、連帯感と笑顔あふれる地域社会を目指す。

(3) 運営方針

- (ア) 地域住民が、親和と共同の連帯意識をもって、校区の発展と生活環境の整備を図り、校区が主体となった潤いと活力のある住みよいまちづくりをすすめる。
- (イ) 子どもたちをはじめ、住民みんなが夢や希望をもち、共に助け合いながら楽しく生活続けることができる豊かなまちづくりをすすめる。
- (ウ) みんなで創るまちづくりを基本に、役割分担し、各部会の主体的で積極的な活動に努める。
- (エ) 各種構成団体との連携・協調を図りつつ、効率的な事業推進に努める。
- (オ) コミュニティプラン（地域振興計画）をもとに、自助・共助によるプランの実現を目指すとともに、関係機関や行政との連携による活動（公助）の充実をはかる。



6 推進組織と主な活動（体系表）



部会名	基本方針	主な活動内容
総務まちづくり部会	住みよい地域の環境づくりを基盤に、お互いの連帯意識に支えられた活力あるまちづくりのため、地域課題を的確に捉え、緒施策の積極的な企画や取組に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティプランの策定 ・地区課題の集約 ・新成人のつどい ・広報誌の発行 など
青少年育成部会	次代のふるさとを担う青少年の“こころとからだ”の健全な育成を図るため、家庭・学校・地域が一体となった活動を展開して、地域の教育力の向上に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ・声かけ運動の推進 ・豊かな活動を育む活動 ・あいさつ標語募集 ・地域ふれあいデー ・青少年のつどい など
安心安全部会	地域の安心安全を確保するため、火災、地震、風水害等に対する防災意識の普及や犯罪の未然防止活動、危険箇所点検等を通し、共助精神の向上を図り、防犯防災活動の充実に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強いまちづくり ・校区内危険箇所の点検 ・夜間補導活動 ・消防分団とのふれあい など
社会教育部会	明るく住みよい地域にするために、校区の歴史と文化を継承し、生きがいづくりやまちづくりについて学ぶ気風を高めるとともに、進んで生涯学習に取り組む意欲の形成に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとの歴史文化の伝承 ・ボランティア活動の拡充 ・校区文化祭の推進 など
社会体育部会	地域住民の健康の保持増進とスポーツレクリエーション活動の推進を図り、併せて地域住民の親睦や連帯意識を深めるとともに、住民総参加の活力あるまちづくりに努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいグラウンドゴルフ大会 ・ウォーキング大会 ・親子ふれあい体操の普及など
社会福祉部会	福祉に関する校区の課題解決や地域資源を生かした活動に取り組むため、お互いに助け合う「共助」や住民同士のつながりを大切にするまちづくりに努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉に関する講習会 ・子どもと地域住民との交流会 ・子育て世代への支援及び情報交換 など

7 玉江校区コミュニティプラン

番号	事業名	事業内容	事業のねらい	計画スケジュール(予定)					区分	担当 部会
				1年	2年	3年	4年	5年		
1	コミュニティプラン策定	今後5年間の活動方針	玉江校区におけるまちづくりの目標と方針の策定						新規	総
2	玉江かわら版の発行	玉江校区コミュニティ協議会の広報活動, 作成	情報共有による地域一帯となった住みよいまちづくり	○	○	○	○	○	新規	総
3	新成人のつどい	地域での新成人式開催	新成人の前途を祝しさらなる成長を促す	○	○	○	○	○	継続	総
4	地域ふれあいデー	臼, 杵を使った餅つき体験	伝統の継承, 世代間の交流による親和と連帯意識の向上	○	○	○	○	○	継続	青
5	青少年のつどい	立志式に合わせたグラウンドゴルフ大会	世代間交流を通じての健全な心身の育成	○	○	○	○	○	継続	青
6	地元消防分団とのふれあいのつどい	地元消防分団の指導による放水体験, AED操作など	地元消防分団との交流, 諸体験活動による防災意識の向上	○	○	○	○	○	継続	安
7	ちびっこ予報士	雨量計づくりと雨量計測	雨季における危険予知能力育成	○	○	○	○	○	新規	安
8	防災・防犯パトロール	校区危険箇所点検と防犯パトロール	危険箇所の周知と防災意識の向上並びに非行・犯罪の未然防止	○	○	○	○	○	新規	安
9	交通安全の促進	通学路の安全確認と立哨	児童生徒や地域住民の交通事故の未然防止	○	○	○	○	○	継続	社教
10	校区文化祭	町内会やコミュニティ協議会構成団体による舞台出演, 作品展示	校区住民の学習成果発表と親睦及び潤いと活力あるまちづくり	○	○	○	○	○	継続	社教
11	社会学級	各種講座や料理などの実技体験	生涯学習の推進	○	○	○	○	○	継続	社教
12	歴史講座	校区内の遺跡等を活用した講座	校区の歴史の再発見と地域資源の活用による地域主体のまちづくり	○	○	○	○	○	新規	社教

番号	事業名	事業内容	事業のねらい	計画スケジュール(予定)					区分	担当部会
				1年	2年	3年	4年	5年		
13	グラウンドゴルフ大会	小学生と校区住民でチーム構成したグラウンドゴルフ大会	世代間の交流	○	○	○	○	○	継続 共催 新規	社体
14	あいご体育大会	各町内会対抗のドッジボール大会(こども)及びソフトバレー大会(保護者・校区住民)	暑い最中での競技を通じて体力の向上と地域間の交流促進	○	○	○	○	○	継続	社体
15	親子体操普及活動	校区コミュニティ協議会で作成した「親子体操パンフレット」を活用した体操の普及	親子間のスキミングの推進と健康体力づくり	○	○	○	○	○	新規	社体
16	認知症等に関する講習会	認知症等を正しく理解するための講習会	認知症の人やその家族を地域で見守る体制の構築	○	○	○	○	○	新規	社福
17	子育てサロン(0歳～3歳)	子育て親子間の交流	地域全体での子育て支援	○	○	○	○	○	継続	社福
18	地域福祉合同会議	民生委員児童委員と福祉関係者との意見交換会	楽しく生活できる個性豊かなまちづくり	○	○	○	○	○	新規	社福

担当部会の表示

総-----総務まちづくり部会
 青-----青少年育成部会
 安-----安心安全部会
 社教-----社会教育部会
 社体-----社会体育部会
 社福-----社会福祉部会

8 資 料

(1) アンケート調査の概要

(2) プラン策定までの経緯

(3) プラン策定委員

(1) アンケート調査の概要

1 調査の目的

校区の現状を把握し、コミュニティプラン策定の参考とする。

2 調査の内容

(1) 小・中学生

(ア) 登下校時、遊んでいる時の安全について (2問)

(イ) あいさつの励行について (2問)

(ウ) 校区行事への参加について (3問)

(エ) 玉江校区の環境やまちづくりについて (5問)

(2) 大人

(ア) 回答者自身について (年齢など) (2問)

(イ) 玉江校区の環境やまちづくりについて (6問)

(ウ) 地域の福祉について (4問)

(エ) 青少年育成について (4問)

(オ) 社会教育・社会体育について (3問)

(カ) 校区行事について (2問)

3 調査の対象及び調査方法

(1) 調査地域 玉江校区 (下伊敷、小野)

(2) 調査対象者

(ア) 小学生 玉江校区に居住する玉江小学校5年生

(イ) 中学校 玉江校区に居住する伊敷中学校2年生

(ウ) 大人 玉江校区に居住する町内会員、PTA関係者

(3) 調査方法

(ア) 小・中学生は学校で配布、回収

(イ) 大人のうち、町内会員については各町内会長が配布、回収。PTAは独自で配布、回収。

(4) 調査期間 平成29年11月～平成30年1月

(5) 調査票の配布・回収率

(1) 小学生 145/145 (回収率100%)

(2) 中学生 115/115 (回収率100%)

(3) 大人 337/ (最終の配布数が確認出来ず)

4 アンケート調査から見えてきたもの（抜粋）

[玉江校区の良さ]

(1) あいさつの励行

約半数の児童・生徒が自分から進んであいさつしている。

(2) 校区行事への参加率

小学生の約80%、中学生の約60%が校区行事に参加している。

(3) 生活環境

大人の回答者のうち94%の人が住みやすいと感じており、その理由としては、生活が便利、自然環境が良い、住民の人柄などをあげている。

[玉江校区の課題]

(1) 生活環境の改善

多数の児童・生徒があちこちにゴミのポイ捨てが見られると回答。

(2) 防犯・事故対策の強化

国道3号線をはじめ地域全体の交通量が多く、交通事故が心配。また、防犯灯が少ないため、暗くて危険な箇所が残っている。

(3) 世代間交流の促進と見守り活動

大人の有効回答者329名のうち、70歳代が28%、60歳代が24%で高齢化が進んでいる。また、日頃の悩み、不安では健康・病気、老後の生活が上位をしめている。

このため今後、各種行事等を通じた世代間交流を促進するとともに、地域で見守る力を高め、高齢者が孤独感・疎外感などを感じることがないように講じる必要がある。

(4) 連帯感の希薄化

近所とのつきあいでは、約半数の人がたまに世間話や立ち話程度と回答。また、近所による助け合いでは多少必要が大多数を占め、大いに必要の2倍に達している。

(2) プラン策定までの経緯

年月日(平成)	主 な 活 動 内 容	備 考
29. 4. 1	玉江校区コミュニティ協議会設立総会	73団体が加入
7. 4	第1回コミュニティプラン策定委員会	策定の意義、手順等について鹿児島市伊敷支所より説明
9. 6	第2回コミュニティプラン策定委員会	策定の手順、作業等検討
10. 11	第3回コミュニティプラン策定委員会	アンケート調査項目等検討
11. 15	第4回コミュニティプラン策定委員会	アンケート調査項目及び対象範囲決定
30. 3. 26	第5回コミュニティプラン策定委員会	アンケート調査結果の概要(小学生145名、中学生115名、大人337名、計597名より回答あり)、30年度の作業計画など
6. 18	第6回コミュニティプラン策定委員会	玉江校区コミュニティプランの柱立て、仕様等
7. 4	第7回コミュニティプラン策定委員会	玉江校区コミュニティプランの骨格検討
10. 5	第8回コミュニティプラン策定委員会	玉江校区コミュニティプランの素案説明
10. 30	第9回コミュニティプラン策定委員会	玉江校区コミュニティプランの内容検討
12. 19	第10回コミュニティプラン策定委員会	玉江校区コミュニティプランの内容検討
31. 1. 23	第11回コミュニティプラン策定委員会	玉江校区コミュニティプランの内容検討
31. 3.		玉江校区コミュニティプランの発行

(3) プラン策定委員

NO	役 職 名	氏 名
1	玉江校区コミュニティ協議会 会長	平 田 勇 雄
2	玉江校区コミュニティ協議会 副会長	増 留 貴 朗
3	総務まちづくり部会 部会長	米 山 太 助
4	総務まちづくり部会 副部会長	赤 澤 耕 一
5	総務まちづくり部会 部会員	藤 井 一 彦
6	総務まちづくり部会 部会員	杉 山 真 也
7	総務まちづくり部会 部会員	飯 田 博
8	青少年育成部会 部会長	末 廣 政 雄
9	青少年育成部会 副部会長	上 村 芳 郎
10	安心安全部会 部会長	上 仮 屋 進
11	安心安全部会 副部会長	比 良 田 輝 明
12	社会教育部会 部会長	田 添 康 明
13	社会教育部会 副部会長	増 留 貴 朗
14	社会体育部会 部会長	小 笠 原 義 夫
15	社会体育部会 副部会長	太 田 敬 介
16	社会福祉部会 部会長	梶 原 祐 一 郎
17	社会福祉部会 副部会長	今 村 純 子

※総務まちづくり部会員の一部については、上記の役職と重複するため、再掲せず。

1	事務局職員	飯 田 博
2	事務局職員	増 田 恵 津 子